

令和6年度 第1回山ノ内町行政改革推進委員会 議事要旨

○開催日時・場所・出席者・傍聴者

開催日時 令和6年8月21日（水） 午前10時から午前12時まで
場 所 山ノ内町役場 401会議室
出席者 下記のとおり
傍聴者 1名

○協議事項（議事要旨）

1 開 会

- ・委員改選にあたり、出席者を委員として本日から令和8年3月31日までの任期中で委嘱させていただく旨説明。

2 あいさつ 平澤町長

3 自己紹介

4 役員選出

- ・行政改革推進委員会設置条例第4条に基づき、会長については、役員の互選により佐々木正明委員を選出。職務代理は、会長の指名により佐藤匡則委員を選出した。

5 会議事項

- ・行政改革推進委員会設置条例第6条により、会長が議長となり議事の進行を行う。

(1) 第7次山ノ内町行政改革大綱実施計画に係る令和5年度取組結果について

- ・事務局より第7次山ノ内町行政改革大綱について説明。
7次大綱は令和4年度から令和8年度までの5年間の行政改革を進めるための計画であり、この計画推進のため、年度ごとに取り組む40項目の実施計画を策定し、進捗状況を確認した旨説明。
- ・次に第7次行政改革大綱実施計画取組項目一覧表を説明。
行政改革大綱の40項目の実施計画について、令和5年度の取組結果欄に●＝実施済み △＝一部実施 ×＝未実施で結果を表している。また、年度別目標欄には、具体的な目標数値と実績を記している。
- ・40項目の中から、主なものを抜粋して説明。

<質疑等>

委員

町ホームページがリニューアルされたのに、アクセス数が極端に減少したが原因は何か。また、直ぐに欲しい情報へ辿り着くことができないため、以前のホームページよりも見やすいように改善してほしい。

事務局

アクセス数が減少した原因は定かではないが、以前のホームページでお気に入り登録されていた方が、リニューアルによって外れてしまったという状況が考えられる。改善要望については担当係へ話をつなげたい。

委員

日頃、当たり前に行っている業務のことでも、業務改善のためには、最初に業務に関わった印象が重要であり、新人職員などの意見は積極的に聞くべきと考える。よって、職員提案制度の実績が0だが、職員のやる気を引き出すために積極的な取り組みを。

事務局

提案制度を知らない職員もいるかもしれないため、日々の業務を改革できるよう、積極的に提案してもらえよう環境作りや情報提供に努めていく。

委員

女性参画が少ない。公募や町長推薦の中で積極的に進めてほしい。

事務局

各課で検討していく。

委員

令和5年9月に町がゼロカーボンシティ宣言を行ったが、資料の中の取組結果に記載がないし、取組事項としてロードマップ策定の記載がないが何故か。

事務局

ゼロカーボンシティ宣言の記載はないが、職員が意識して取り組まなければならない課題と考えている。また、ロードマップではないが、取組事項の中で地球温暖化防止実行計画の策定について記載があり担当課で取り組んでいくこととしている。

委員

道路台帳などの申請手続きで時間がかかる。役場の事務作業も効率化が図れることから、オンライン化を進めてほしい。

事務局

必要性は認識しているが、行政手続きのオンライン化には多額の費用がかかる。DX推進室の中で、毎年少しずつ進めている。

(2) 令和5年度事務事業評価の結果について

(3) 令和4年度事務事業評価における見直し対象事業の令和5年度取組状況について

- ・事務局より説明。
- ・事務事業評価については、7次行政改革大綱で、1年に約60事業を評価していくこととなっており、5年度においては、30の事務事業を評価した。
- ・庁内で組織する行政改革推進本部（幹事会）にて、5年度に評価する事務事業を決定し、その後担当係長が係の意見を聞きながら一次評価を行うが、事業の必要性、有効性、効率性、公平性、そしてこれらを踏まえた総合評価の観点からA・B・C・Dの評価を実施した。（Aは問題なし。Bはほぼ問題なし。Cは多少見直す余地あり。Dは見直す必要あり）
- ・事務を担当する係長の一次評価の後、庁内の行政改革推進本部幹事会において、担当係長から直接事務事業の内容をヒアリングし、客観的な目で二次評価を行った。30事業のうち、Aが27件、Bが2件、Cが1件、Dが0件であった。総合でB・C評価となった3事業について説明。
- ・また、4年度事務事業評価取組状況については、B・C・D評価であった6事業の取組状況を報告。

<質疑等>

委員

「個別避難計画作成委託」で、計画作成において支援者名簿を関係組織へ提供するように法律で定められている。町の方から関係組織へ名簿を提出するということを目標に記載してほしい。

事務局

名簿の提供には個人情報が多分に含まれており、提供できない問題もあるかもしれないが、法律で決まっている内容なので、対応できるか確認するよう担当課へ伝える。

委員

「個別避難計画」は「支えあいマップ」とは違うのか。一本化できないのか。

事務局

支えあいマップは地域の共助の中で作成するものである。個別避難計画は公式的に作成し公表できない情報も含まれるため、別なものとして作成が必要。

6 その他

<事務局より>

- ・しごと改革推進プラン24について説明。「魅力ある役場」、「働きやすい職場環境」を目指し、事務改善として申請手続きに係る申請フォームを活用したほか、環境改善として名札の改善や服装の実質自由化に取り組んだ。

委員

職員が自らのスキルを活かして副業ができるような改革も検討してほしい。

事務局

与えられた有給休暇が消化できていない職員が多い中で、休日に副業を進めることは難しい。制度自体は必要と考えているので今後検討していく。

委員

シビックプライドとの関連性について、地域にどのように関連性を持たせていく考えか。

事務局

職員として、地域の活性化や地域貢献に取り組む意識は必要と思うが、全職員が活動できるかは難しい。

委員

地域総合型スポーツクラブが設立された。今後、部活動などが無くなるという不安がある。町の方で、指導者や補助金の予算を確保いただきたい。

事務局

要望や提案については所管課へ相談いただくと、所管課の方で新たに補助制度を作るなど検討することになる。また、本日の会議は、要望を受ける場ではなく、制度自体に問題がないかなどの内容確認をする場であるので、今後、制度見直しに係る意見や要望が出ればこの会議で検討することとなる。

委員

特定空き家の解体した跡利用について意見を言いたいが。

事務局

建設水道課へ要望を上げていただきたい。

委員

子どもの海外留学に係る補助金で500万円を出すことになった件について、子ども2人で1,000万円出すよりも、給食費に充てて広く使った方がいいと考えるが、行革推進委員会で内容に対し意見を言うことはできないか。また、予算が付いて

いるということは議会で承認されたと思うが、議会から意見は出されなかったのか。

事務局

行革推進委員会では、作られた制度を次の年に審査することはしないため、何年か経過した中で、海外留学の補助制度の見直しが必要かどうかの審査対象となる。また、予算の議決については議員の多数決で決まるが、その前に委員会で議論されている。予算内容が認められない場合は、議会側で修正案を提出できることになっている。

委員

行革推進委員会として出席しているが、委員から意見を出しても内容を変えることができないのであれば、町では資料内容に対してどのような意見を求めているのか。

事務局

行政改革大綱に基づく事務事業評価は、職員のみだけでは客観的な評価が得られないので、委員の皆様からも意見をお聞きし、お墨付きをいただいた上で議会へ報告することとしている。本日、要望や指摘があった内容は今後の事業に反映させていくため、担当課へ伝える。

委員

行革大綱実施計画の具体的取組項目で「総合型地域スポーツクラブ設立」があるが、R5で設立されたことから、R6以降は「総合型地域スポーツクラブ運営」に変更し評価いただきたい。

事務局

担当課と相談し検討したい。

7 閉 会

- 出席者
- | | |
|------|--------------------------------|
| 会 長 | 佐々木 正明 (町長推薦) |
| 職務代理 | 佐藤 匡則 (山ノ内商工会 副会長) |
| | 塚田 一男 (山ノ内町議会 総務産業常任委員長) |
| | 小坂 進 (山ノ内町区長会 前坂区長) |
| | 湯本 和幸 (山ノ内町民生児童委員協議会 会長) |
| | 佐藤 次雄 (山ノ内町農業委員会 会長) |
| | 望月 美知子 (山ノ内町農業委員会 農業委員) |
| | 湯本 義則 ((一財) 山ノ内まちづくり観光局 専務理事) |
| | 布施谷 裕泉 (町長推薦) |
| | 土屋 富夫 (町長推薦) |
| | 野田 瑞絵 (町長推薦) |
| | 金子 博之 (町長推薦) |
| | 黒岩 拓吾 (町長推薦) |
| 欠席者 | 高木 美佐子 (山ノ内町保健補導員会) |
-
- | | |
|------------|------------------|
| 町 長 | 平澤 岳 (公務のため途中退席) |
| (事務局) 総務課長 | 古幡 哲也 |
| 財政係長 | 大裕 純人 |
| 財政係 | 櫻井 さつき |
| 財政係 | 新井 宥佑 |